

西知多地域循環型社会形成推進地域計画（第二次）の 令和6年度進行状況について

1 目標に対する進行状況について

指標・単位				現 状	実 績	目 標
年				令和元年度	令和6年度	令和8年度
排 出 量	事業系	総排出量	(t)	14,170	11,574	12,012 (R元比 -15.2%)
		1事業所当たりの排出量	(t/事業所)	2.33	1.84	1.98 (R元比 -15.0%)
	生活系	総排出量	(t)	42,948	37,540	40,749 (R元比 -5.1%)
		1人当たりの排出量	(kg/人)	192	170	180 (R元比 -6.3%)
	合 計	事業系生活系排出量合計	(t)	57,118	49,113	52,761 (R元比 -7.6%)
再生利用量	直接資源化量		(t)	1,831 (3.2%)	1,726 (3.5%)	1,830 (3.5%)
	総資源化量		(t)	9,352 (15.6%)	11,682 (22.9%)	13,942 (24.9%)
エネルギー回収量	エネルギー回収量(年間の発電電力量及び熱利用量)		(MWh/年)	4,567	25,830	28,686
			(GJ/年)	—	—	—
最終処分量	埋立最終処分量		(t)	6,321 (11.1%)	147 (0.3%)	4,267 (8.1%)

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量及び埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量及び集団回収量の合計に対する割合

※2 (1事業所当たりの排出量) = (事業系ごみの総排出量－事業系の資源量) / (事業所数)
事業所数は令和3年経済センサス

※3 (1人当たりの排出量) = (生活系ごみの総排出量－生活系の資源量) / (人口)
人口は外国人人口を含む総人口

《用語の定義》

排出量：事業系、生活系を問わず、出されたごみの量（集団回収量を除く。）〔単位：トン〕

総資源化量：集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和〔単位：トン〕

エネルギー回収量：エネルギー回収施設において発電された年間の発電電力量〔単位：MWh〕及び熱利用量〔単位：GJ〕

最終処分量：埋立処分された量〔単位：トン〕